

多面的機能支払交付金事業～亶理町～

〈概要〉 ※全組織合計

取組面積 2965.4 ha

資源量 水路 186.3 km

農道 171.5 km

ため池 19 箇所

構成員 農業者

非農業者

亶理町では平成 19 年度から農地・水・環境保全向上対策(第一期)により町内全域を対象に広域活動組織として 6 組織を設立し、事務局を亶理土地改良区が担い保全活動に取り組んでいました。

近年、本町において活動参加者の高齢化等に伴う維持管理活動の減少や活動費の有効な活用についてなど様々な課題があるため、令和元年度より 6 組織から 3 組織へ更なる広域化を図り、課題解消に向けた話し合い等を行いながら効率的・効果的な活動の実施を目指しています。

〈農地維持活動・資源向上活動〉

①草刈り

・水路、農道の法面やため池の草刈りを実施しています。

近年、草刈り作業中の事故が多発しているため、草刈り前の安全確認を徹底するよう呼び掛けています。



②江払い

・水路の江払いを実施しています。

効率的に作業を実施するため、重機の使用と手作業を併用して活動を実施しています。



③植栽活動

・希望する集落に花苗の配布を実施しています。

地域住民の交流の場としての機能も発揮しています。



④清掃活動

・町内の環境美化のため清掃活動を実施しています。

役場の事業と連携して活動を推進しています。



〈広域化組織設立の経緯〉

①各集落における活動参加者の高齢化や活動費の有効な活用等の課題を解消するため組織の広域化を図る。(6組織→3組織)

②新しく設立された広域化組織として改めて各組織の現状を見直し、総会・検討会等で議論を重ねる。

③5年間の協定期間中に保全管理目標の実現に向けた方策をまとめ、地域資源保全管理構想を策定する。

逢隈北部地区資源保全隊

逢隈南部地区資源保全隊

逢隈地区資源保全隊

巨理地区資源保全隊

荒浜地区資源保全隊

巨理荒浜地区資源保全隊

吉田東部地区資源保全隊

吉田西部地区資源保全隊

吉田地区資源保全隊

○組織が広域化されたことで、各集落間の工事費など活動費の調整が容易になり、従来に比べてより柔軟な対応が可能となったため、効率的・効果的な活動を実施することができます。

○現在、組織における高齢化に伴う活動参加者の減少や地域の非農業者の増加、地域を担う後継者の不足など保全活動を実施することが困難となっているのが現状です。地域資源の持続的な保全管理を推進するためにも、非農業者を巻き込んだ活動の実施や若年層へ向けた啓発活動などに力を入れ、地域資源の維持管理を支える体制を構築する必要があります。